科目名	細胞病理検査学講義	分野・必選別・単位数	専門科目(臨床検査医学)	選択	2単位

担当教員	◎教授　望月　眞					科目ナンバー	T4C101
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	前期	授業方法	講義

授業の概要	組織細胞形態学的、分子病理学的、免疫組織化学的な手法を用いた病理検査で、婦人科、呼吸器、乳腺など、さまざまな疾患をどのように診断していくかについて、各種症例を交えながら講義とディスカッション形式で授業を進める。
授業の到達目標	①疾病の成因、病態の解析方法としての分子病理細胞学的手法、免疫組織化学的手法について説明できる。 ②各領域の悪性腫瘍の診断や治療、予後判定と分子病理学的手法、免疫組織化学的手法との関連性について説明できる。

授業計画

回数	担当者	行動目標
1	望月　眞　教　授	分子病理学的手法と免疫組織化学染色、病理組織診断、細胞診断との関係について説明できる。
2	望月　眞　教　授	分子病理学的手法と免疫組織化学染色、病理組織診断、細胞診断との関係について説明できる。
3	望月　眞　教　授	分子病理学的手法と免疫組織化学染色、病理組織診断、細胞診断との関係について説明できる。
4	望月　眞　教　授	分子病理学的手法と免疫組織化学染色、病理組織診断、細胞診断との関係について説明できる。
5	望月　眞　教　授	分子病理学的手法と免疫組織化学染色、病理組織診断、細胞診断との関係について説明できる。
6	望月　眞　教　授	さまざまな疾患における遺伝子検索や免疫組織化学染色の有用性および病理組織細胞学的な形態変化について説明できる。
7	望月　眞　教　授	さまざまな疾患における遺伝子検索や免疫組織化学染色の有用性および病理組織細胞学的な形態変化について説明できる。
8	望月　眞　教　授	さまざまな疾患における遺伝子検索や免疫組織化学染色の有用性および病理組織細胞学的な形態変化について説明できる。
9	望月　眞　教　授	さまざまな疾患における遺伝子検索や免疫組織化学染色の有用性および病理組織細胞学的な形態変化について説明できる。
10	望月　眞　教　授	さまざまな疾患における遺伝子検索や免疫組織化学染色の有用性および病理組織細胞学的な形態変化について説明できる。
11	望月　眞　教　授	さまざまな疾患における遺伝子検索や免疫組織化学染色の有用性および病理組織細胞学的な形態変化について説明できる。
12	望月　眞　教　授	さまざまな疾患における遺伝子検索や免疫組織化学染色の有用性および病理組織細胞学的な形態変化について説明できる。
13	望月　眞　教　授	さまざまな疾患における遺伝子検索や免疫組織化学染色の有用性および病理組織細胞学的な形態変化について説明できる。
14	望月　眞　教　授	さまざまな疾患における遺伝子検索や免疫組織化学染色の有用性および病理組織細胞学的な形態変化について説明できる。
15	望月　眞　教　授	さまざまな疾患における遺伝子検索や免疫組織化学染色の有用性および病理組織細胞学的な形態変化について説明できる。

事前事後学修の内容およびそれに必要な時間		
	【事前学修】	次回授業部分の資料を事前に読んでおくこと。
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、関連する文献等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。
	【必要時間】	総合的に30時間の予復習が必要。

教科書	随時　指示する。
参考書	随時　指示する。
成績評価の方法および基準	授業内課題30%、口頭試問70%
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP2が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。